

# ときわ便り 第36号（冬号）



ときわ病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし  
「人権擁護の精神」を尊重し  
社会福祉法人としての伝統と  
人間愛の精神をもって運営します

〒921-8834 石川県野々市市中林4丁目123番地 TEL (076) 248-5221 (代表) FAX (076) 248-5223

師走を迎え、2025年も残りわずかとなりました。今年の干支・巳年（乙巳／きのとみ）は「成長と変化」を象徴する年とされ、日本では大阪・関西万博の開催や初の女性総理大臣の誕生など、大きな出来事が相次ぎました。ときわ病院においても、4月に内藤医師が院長に就任し、ホームページのリニューアルやロゴマーク・イメージカラーの刷新を行うなど、病院にとって成長へとつながる変化の一年となりました。そして来年の干支・午年（丙午／ひのえうま）は、ウマのように力強く走り出す「行動と挑戦」の年といわれています。今年の経験を糧に、2026年は「行動と挑戦」を胸に、患者さん・地域・医療者が共に歩む一年を目指してまいります。



ときわ病院の療養病棟では12月にクリスマス会を行いました。ボーリングゲームの後はおやつタイムでムースを食べて、クリスマスのプレゼント渡しもありました。





## メンタルヘルスサポーターとは

こころの病気や精神に障害のある方について理解し  
障害のある方の生活と社会参加を地域で支える人です。

R7年11月20日にときわ病院にて、障害のある人となない人が共生できるまちづくり（白山市の事業）の一環として、メンタルヘルスサポーター養成講座を行いました。福祉、医療従事者、保育園職員、障害施設職員、教育関係、民生委員など14名の方が受講されました。受講者からは「精神の病気がある方でも活動することが出来る、デイケアやグループホームなど いろんな場所があることを知った。」「活動の場があると知ることが心の安定につながると思う。」といった感想やご意見をいただきました。ときわ病院ではこれからもメンタルヘルスサポーターの養成を行い、地域で暮らす方々のメンタル不調の予防や早期発見につながるよう努めてまいります。



## 12月11日に「かかりつけ医等認知症対応力向上研修」が開催され、ときわ病院の内藤院長が講評を行いました



講評の中では認知症ですぐに怒る人のお薬の使い方や支援について、怒る人のタイプを①常に怒る人 ②刺激で怒る人 の2つに分けてお話がありました。

①常に怒る人は薬物療法の適応が多く、第一選択は抗てんかん薬。効果が乏しければ抗精神病薬で対応を行い、抗精神病薬の副作用では致命的か（転倒して頭部外傷、嚥下機能低下で窒息）そうでないか（動きが悪くなりADL低下や誤嚥性肺炎）に注意し調整が必要とのことでした。

②刺激で怒る人への対応については環境調整が重要になり、どんな時に誰に対して怒るのかを把握し、怒る時間帯や人物を避けての対応が必要。介護などで刺激する前の頓服薬使用や夕暮れ時の怒りっぽさ（夕暮れ症候群）など、決まった時間に怒る場合はその時間に合わせてスポット的に薬を使用する方法が効果的ということでした。また、怒りの頂点が5分以上続く人は殆どいないという豆知識もありました。怒りに対する有効な評価方法を学ぶことが出来た、有意義な検討会となりました。

**食養課だより** ときわ病院では月に1回入院患者様に、季節のデザートや行事食を提供致しております。

### 12月 クリスマス行事食 & 苺



### 11月 鳴門金時のショートケーキ



～ 嚥下機能が低下している患者様にはゼリーやムース状に加工し、飲み込みやすいように工夫をしています ～

## 無料個別相談のお知らせ

ときわ病院では第3土曜日10時から無料で個別相談を行っております。ご予約は不要ですのでお気軽にお越しください。

2026年	テーマ	担当部署
1月17日（土）	医療費の低減、還付制度について	医事・総務課
2月21日（土）	入院から退院までのご相談について	西3病棟
3月21日（土）	デイケアオープンDay「精神科デイケア活動について」	デイケア

## はじめて受診（入院）希望の方は、地域連携室にお問い合わせください

当院の外来が大変込み合っており、2週間程度の日程調整が必要な状態となっております。事前のご連絡をお願いいたします。入院などお急ぎの方は、可能な限り対応いたします。 直通TEL）076-248-9502 担当：藤井・木下・鷺田